

暖かい陽気と共に新年度が始まりましたが、皆さまいかがお過ごしでしょうか？

本来であれば外での活動が心地よい季節ですが、新型コロナウイルスの影響で自粛ムードです。

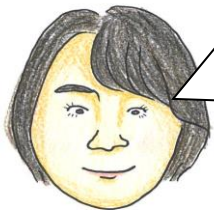
「当たり前の生活って何だろう？」「いつものこの習慣って意外と大事だったんだなあ・・・」等々皆さまお一人お一人感じられていることがあるのではないのでしょうか。

「この作業って本当に必要な？」「何を優先すればいいかな？」など考えているうちに、今回の新型コロナウイルスの収束後には世の中がまるで違った価値観に変わっているかもしれませんね。

何より心身の健康を損ねないように、皆さまご自愛ください。

本年度も当センターではこのお便りを通じて、一人でも多くの方が発達障がいについて興味・関心を持ち、正しい情報を得ていただければと思っています。そのために紙面の充実も図っていきたく思いますので、ご意見等、ぜひお寄せください！本年度もどうぞよろしくお願いいたします。（^o^）

1. 発達障がい者支援センター職員ごあいさつ



森 真代 新管理者・コーディネーター

前年度から多くの方々にご指導いただき、これまでの価値観がガラッと変わったような1年でした。今後も発達障がいの視点とそれに限らない視点を持って、住みよい倉敷市になるよう魅力あふれる皆さまにお力添えをいただきたいと思っております。

ここで私の特徴ですが、「面白いものに飛びつきやすい」習性と、「飛び抜けた方向感覚の鈍さ」があります。どうかご注意ください。よろしくお願いいたします。

※また、毎回、利用者の皆様に通信の校正・情報提供・配布の活動にご協力いただいております。紙面を持って御礼申し上げます。いつもありがとうございます！！

福本 正俊 発達障がい支援コーディネーター

初めまして！4月より発達障がい者支援センターに赴任することになりました。

一般企業より福祉の世界に飛び込み、昨年は生活介護の施設で働いていました。右も左もわからない状態ですが、一緒に悩んだり、考えさせてもらえたら、と思っています。これからよろしくお願いいたします！

ちなみに特技はお皿に盛られた食べ物は残さず食べることです！

※右の私の写真は利用者さんにボランティアで撮影していただきました。

ありがとうございました！！



2. 前管理者よりごあいさつ



仲山 教之 前管理者

昨年の8月に赴任し、「あっ…」という間の8か月間でした。

この8か月間ほど、人というものの奥深さを感じたことはありませんでした。

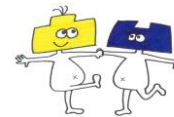
自分と自分以外の人との違いを認め、それを受け入れ、尊重すること、そのことを常に考え続けてきましたし、今も考え続けています。難しいですし、答えは出ません…。

在任中に時間をともにしていただいたたすべての方に、心から感謝いたします。

最後に…、「カレーライスはず必ずおかわりをしなければならない」、これが私のこだわりであり、座右の銘であり、ライフワークです。

3. 利用者の方の活動紹介

この機会に日頃の皆様のご活躍や工夫を紹介させていただきます。
日々のヒントになることを願って……



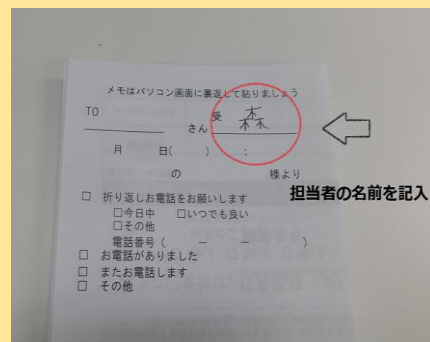
Aさん(ご家族の立場から)

「電気は付けたら消して!」「どうしてやりっぱなしなの?」
自宅ですついお子様に対し言葉での注意をしてしまうというAさん。
小言は誰も言いたくないし聞きたくないもの。
Aさんは他のご家族と「どうしたら本人に行動を変えてもらえるか?」
「どう伝えたらわかってもらえるのだろうか?」と悩みました。
家族がみんなで心地よく過ごせるルール作り。
言葉で注意を受けなくても右の写真のように、
その都度目で見て気を付けることができたためか、
結果的にお子様の行動は改善されたそうです(あくまで一例です)。
どんな口調なら伝わるか?どこにラベルを貼るといいのか?を
ご本人の生活動線から検討し工夫されたそうです。
工夫自体もちろんですが、こういったひとつひとつの工夫を
一緒に考える仲間こそAさんにとって必要な存在だと気づかれます。



Bさん(ご本人)

訪問先でお会いするBさんは、最近コーディネーターに対しわずかに視線を
向けてくださるようになりましたが、言葉でのやり取りは辛そうです。
当センターとしてはBさんとの繋がり1つに事務所でのTEL受付メモを
お願いしています。
ご家族からは最初、Bさんにこのような仕事をさせるのは、Bさん自身嫌がり
はしないか心配で、引き受けることに抵抗があったというお話でした。
この1年、お金にならないボランティアですが、ご家族のサポートのかけもちもあ
ってお渡した内職は確実に行ってくださっています。
ご家族はBさんの将来のことが心配で、これまで多くの相談機関に相談を続
けてこられました。それでも大きな変化がないことを今も不安に思われています。
このような思いを持つご家族は決して少なくありません。
センター事業の一助を担っていただきBさんご家族には感謝しかありませんが、もう一方の側面として、今後も作業内容を
いくつかご提案しながらBさんの得意なこと、やりやすいこと、手応えを感じることは何か毎回ご家族と共に検討しています。



4. 家族・支援者に向けた新型コロナウイルス感染症に対する情報

■川崎医療福祉大学社会連携センターTEACCH Autism Program より発信(2020.3.24)

「不確実な時に自閉症の人を支援すること」

<https://w.kawasaki-m.ac.jp/data/6278/topicsDtl/>

■発達障害情報・支援センターより発信(2020.4.10)

「新型コロナウイルス予防・拡大防止について」

http://www.rehab.go.jp/ddis/#_11513

5. 今後の当センターの活動予定(変更になる可能性もあります。ご了承ください)

- ◎令和2年度支援者向け勉強会(開催時期未定)
- ◎令和2年度発達ボランティア養成講座(開催時期未定)
- ◎くらしき発達障がい支援フォーラム(12月予定)

発達障がいのある方の活動を募集しています。皆様の特技、素敵な趣味等をぜひ教えていただければと思います。
また、「発達障がい」に関する研修会、勉強会、親の会、当事者の会など当センターのホームページおよびこの広報誌に掲載させていただきますので、広報されたい方はご連絡ください。
多くの方とともに紙面を作っていければと思います。

<お問い合わせ>
社会福祉法人クムレ
倉敷発達障がい者支援センター(担当:森・福本)
〒710-0002 倉敷市生坂 836-1
TEL 086(464)0015
FAX 086(464)3980
E-mail h-siencenter@cumre.or.jp
ホームページ <http://www.cumre.or.jp>

